

平成25年度  
大阪地区渋滞対策協議会（第1回）

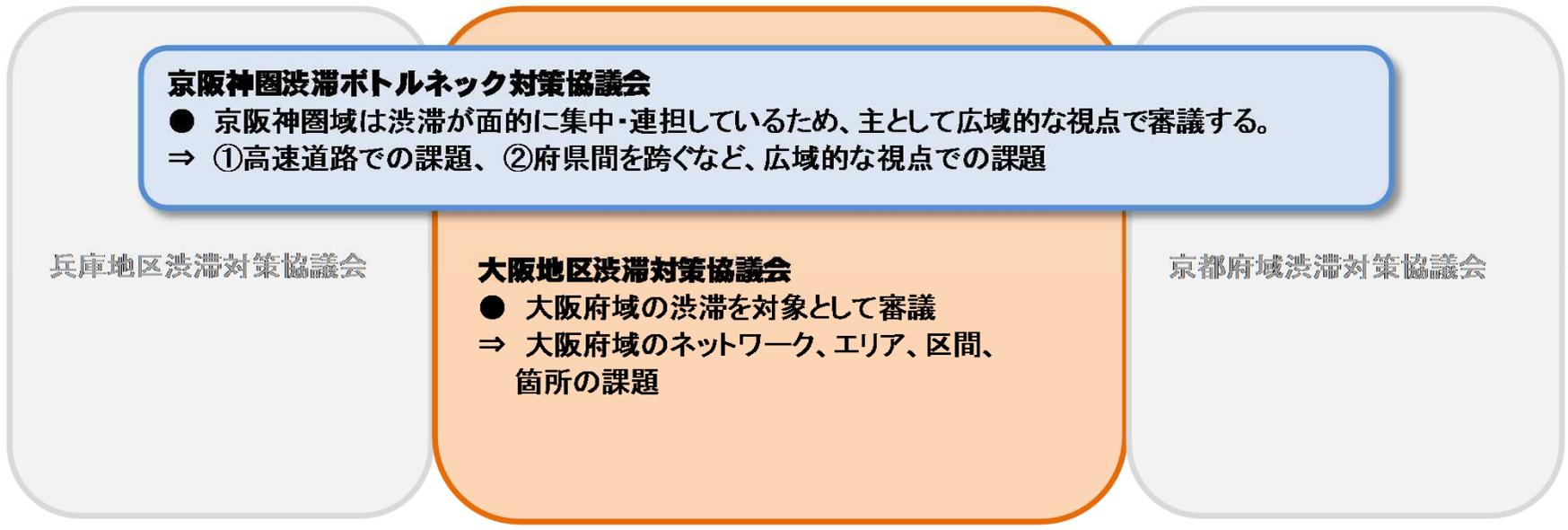
【渋滞対策の対応に係る検討体制について】

---

平成26年 1月24日

# 検討体制について

## ○協議会構成(京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会との役割分担)



## ○年間スケジュール(想定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会		←-----→ 年1回程度(5~6月頃)										
京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会WG	←-----→ 渋滞要因の分析、モニタリング等手法や対策を継続的に検討 ※随時開催(年複数回)											
大阪地区渋滞対策協議会		←-----→ 年2回程度(5~6月頃)								←-----→ (1~2月頃)		
大阪地区渋滞対策協議会 ワーキンググループ	←-----→ 協議会資料の調整等				←-----→ 渋滞要因の分析、効果分析など継続的に検討 ※随時開催(年複数回)						←-----→ 新プローブ情報整理 ・渋滞状況のモニタリング等 による検証 ・主要渋滞箇所のフォローアップ	

# 検討体制について

## ○(大阪地区渋滞対策協議会の検討体制)

### 大阪地区渋滞対策協議会

※構成員

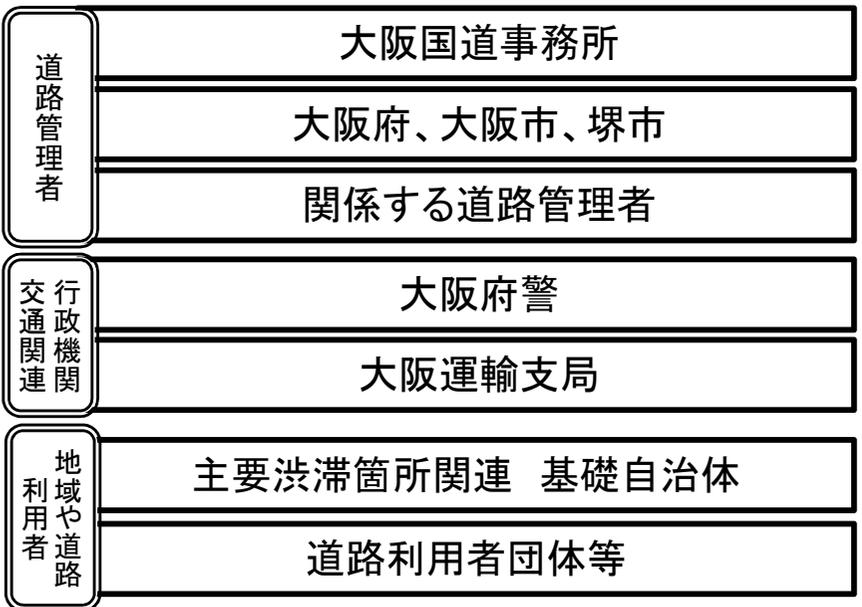
国土交通省近畿地方整備局、近畿運輸局、大阪府警察本部、大阪府、大阪市、堺市、西日本高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、一般社団法人関西経済同友会、一般社団法人大阪府トラック協会、公益財団法人大阪観光コンベンション協会

#### 協議会の推進目標

- ①渋滞状況の把握と要因分析
- ②現在実施中の事業、今後着手する事業の渋滞対策効果の把握
- ③小規模改良やソフト対策の検討
- ④対策実施箇所の効果分析
- ⑤取り組みの公表

### 推進目標について具体的に検討する体制を構築

### ワーキンググループ



- 議論する内容により、必要なメンバーが参加
- 大阪府域全体を対象としたワーキンググループ（協議会開催前に実施）
  - 個別地域の検討に対して、関係する機関が参加するワーキンググループ